

# 第33回 ヒューストン補習校 vs ダラス校 親善ソフトボール大会

## 小学生

33回の歴史。続く想い。日本から離れた此の地で子供たちに勝利の喜びと敗戦の悔しさを。勝敗を超え言葉では言い表せない絆、感動を。そんな大人達から子供達への想い以上に、想像を遥かに超えてくる子供たちの躍動にいつも大人が感動してしまう。そんな年に一度の伝統行事、通称「ダラス戦」。

9月1日日曜日、雨の予報から一転、青空に優しい雲が影を作る最高の天気。両補習校児童・生徒、保護者を含め約450名がダラスの球場に集結。ダラス補習校高校長先生からの、「野球・ソフトボールは「失敗の連続の中で成功することに挑戦するスポーツ」とのお言葉、そして“感謝を胸に”という選手宣誓で大会は幕を開けた。



男子A with 応援チーム

**【男女Mix B】** 男女1-4年生チーム。互いに3点を取る攻防の末、最終7回に4年生女子など複数ホームランで引き離し17対12で勝利。

**【男子D】** 男子1-6年生混合チーム。互いに3点を取り合うシーソーゲーム。4回、ヒューストンの好守備でダラスが1点止まり。ヒューストンは3点を取り続け21対16で勝利。

**【男子B】** 男子4-6年生チーム。初回から連続ヒット、長打で得点しつつ、守備を固めて一気に突き放す。一球入魂のプレーが続き21対7で勝利。

**【男女Mix A】** 男子1-3年生主体に4年生が数名のチーム。1、2年の活躍に3、4年が続く好展開。守備の好プレイも見られ14対5で快勝。

**【男女Mix C】** 男女1-4年生主体チーム。互いに守備に課題を抱える試合展開。同点で迎えた5回のヒューストンの攻撃をフライダブルプレーに抑えたダラスが流れを手繰り寄せ、ヒューストンは16対18で惜敗。

**【男子C】** 男子3-6年生主体、野球未経験者と経験者の相乗効果を生み出すチーム。毎回上限の3点を得点し、好守備で守りも固め21対6の快勝。

**【女子plus α】** 女子2-6年生に男子2-4年生数名が助っ人に入ったチーム。午後の最も暑い時間、初回から互いに上限の5点を取り合う今大会最大の乱打戦。互いに逆転を繰り返し、20対20の同点で迎えた7回裏、ダラスのヒットでサヨナラ惜敗。

**【男子A】** 野球経験者中心に4-6年生で構成する小学生代表チーム。昨年の惜敗を胸に集中力高く試合が始まる。初回、打線がつながり上限5点を取るもダラスも裏に3得点で追いかける。内野フライのダイビングキャッチなど、一球入魂のプレーが続き試合が均衡。4回、ランニングホームラン含む連続安打で相手を突き放し、緩みなく最後まで守備を固めて12対5の快勝。



女子 plus α



男女 MixB



朝9時から17時までの8時間の熱闘を終え、閉会式でヒューストン補習校岡林校長先生から暑い中奮闘した選手を労い、33回もの長きに亘り大会を実現してきた運営委員及びコーチ、更に保護者の気持ちに寄り添うご挨拶を頂き一同感激し大会が締め括られた。

最後にこの場を借りて、今回のホストであるダラス側関係者、更にヒューストン補習校及び商工会関係者、懇親会等で大会を支えて下さった関係各位に感謝すると共に、年間を通じ子供達を指導しこの大会を実現して下さった運営委員そしてコーチ各位、そして保護者の皆様にも深く感謝申し上げます。

尚、来年以降は暑さを考慮し11月頃に開催スケジュールを変更予定。

(千葉 聡)



ヒューストンソフトボールチーム(小1～高3まで)は毎週土曜15時過ぎから補習校グラウンドで練習しています。補習校の生徒でなくても活動に参加できますので興味のある方は [jeihsoftball@gmail.com](mailto:jeihsoftball@gmail.com) までご連絡ください。(ガルフストリーム編集副委員長 竹原 優)